

八王子市立長池小学校 学校経営報告書

学校教育目標
◇よく考え 学ぶ子 ◇思いやりをもち 助け合う子 ◇明るく 元気な子
本年度の重点目標「思いやりをもち 助け合う子」

この学校教育目標の実現にあたり以下の3点を「目指す学校像」とした。

右図の様に、①基盤→②中核→③理念と三層構造になっている。

① 安全・安心で信頼される学校【学校の基盤】
② 学び合い、知徳体を高め合う学校【学校の中核】
③ 生きがいをもつ学校【学校の理念】

1 「安全・安心で信頼される学校」について

以下は、令和6年12月（2回目）に実施した保護者アンケートの結果である。

※1あてはまる 2ややあてはまる 3あまりあてはまらない 4あてはまらない 5分からない

※児童数 345名 回収数 137 回収率 39.7%

	回答数					百分率					R5	R6	回答数計
	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5			
1 学校の教育方針（めざす児童像「よく考え、学ぶ子、思いやりをもち、助け合う子、明るく元気な子」）を知っている。	133	0	0	4	0	97%	0%	0%	3%	0%	94%	97%	137
2 学校が力を入れて行っている取り組み「思いやりをもち、助け合う子」について知っている。（あいさつ運動、縦割り班活動など）	133	0	0	4	0	97%	0%	0%	3%	0%	96.8%	97.1%	137
3 本校が松木中（小）学校と一緒にを行う取り組み「小中一貫教育」について知っている。（小中一貫教育の日、3校合同あいさつ運動、研究授業の参観 等）	131	0	0	6	0	96%	0%	0%	4%	0%	96.1%	95.6%	137
4 学校は、子どもが安心・安全に過ごせるように、避難訓練などの安全管理に取り組んでいる。	115	21	1	0	0	84%	15%	1%	0%	0%	99.3%		137
5 学校は子どもが自分の大切さ、他の人の大切さを認め、行動することができるような教育を進めている。（いのちの大切さを共に考える日の取組、SOSの出し方の取組 ふれあい月間の取組 等）	80	40	4	0	13	58%	29%	3%	0%	9%	83.8%	87.6%	137
6 子どもの学級は落ち着いて学習できる雰囲気である。	66	50	5	7	9	48%	36%	4%	5%	7%	79.9%	84.7%	137
7 学校は授業において、説明、板書、発問、タブレット端末や視聴覚機器（ICT機器）の活用などの工夫に取り組んでいる。	83	41	2	0	11	61%	30%	1%	0%	8%	88.3%	90.5%	137
8 学校は、いじめの未然防止への取組、いじめの早期発見、早期対応等いじめを許さない学校づくりに取り組んでいる。（6月のふれあい月間、児童へのいじめに関するアンケート実施、10月ふれあい月間および集会、SNSノートの活用）	78	43	5	1	10	57%	31%	4%	1%	7%	91.6%	88.3%	137

9	学校は子どもの生活指導に適切に取り組んでいる。	78	40	4	1	14	57%	29%	3%	1%	10%	86.4%	86.1%	137
10	学校は子どもの将来の進路や職業について適切に指導している。(キャリアパスポートを活用した学習、係活動や委員会活動の充実)	53	59	8	0	17	39%	43%	6%	0%	12%	75.3%	81.8%	137
11	学校は学習環境の整備や清掃活動に取り組んでいる。	77	43	6	1	10	56%	31%	4%	1%	7%	87.7%	87.6%	137
12	学校は保護者に対して適切に情報を提供している。(学校だより、学年だより、メールの配信、ホームページ等)	105	28	2	1	1	77%	20%	1%	1%	1%	94.2%	97.1%	137
13	学校の子どもの学習活動に対する評価は適切・公平である。	87	28	7	1	14	64%	20%	5%	1%	10%	86.4%	83.9%	137
14	分かる授業が行われている。	77	41	1	0	18	56%	30%	1%	0%	13%	89.6%	86.1%	137
15	お子さんはすすんで学習に取り組んでいる。	57	52	25	3	0	42%	38%	18%	2%	0%	79.9%	79.6%	137
16	お子さんはあいさつを大切にしている。	63	52	17	4	1	46%	38%	12%	3%	1%	83.1%	83.9%	137

全16項目で、「1(あてはまる)又は2(ややあてはまる)」の肯定的評価が併せて85%以上のものが11項目(そのうち5項目が95%以上)であった。あとの5項目についても、3項目が84%、1項目が82%、1項目が80%であった。このことから、保護者の皆様の学校に対する安心感・信頼感は概ね高いと考える。特に、「4 学校は、子どもが安心・安全に過ごせるように、避難訓練などの安全管理に取り組んでいる。」の項目で「1又は2」と回答した方が99%、「12 学校は保護者に対して適切に情報提供している(学校だより、学年だより、メールの配信、ホームページ等)」の項目で「1又は2」と回答した方が97%であったことは、「安全・安心で信頼される学校」につながると考える。項目15及び16については、主語が「お子さんは」となっているため、肯定的評価が若干低めに現れたのではないかと考える。

一方、「5分からない」と回答した項目に目を向けると、最も多かったものが「14 分かる授業が行われている」の13%であった(肯定的評価は86%)。この項目については、判断材料に乏しいとお考えになった保護者の方々がいらっしやっただのではないかと推測される。今後は、より一層の授業改善を進めると同時に、学校公開により多くの保護者の皆様にご来校いただく工夫をする、普段の授業の様子を積極的に発信していく等の取組をしていく。また、「10 学校は子どもの将来の進路や職業について適切に指導している。(キャリアパスポートを活用した学習、係活動や委員会活動の充実)」の項目で「5分からない」と回答した方が次に多く、12%であった。この項目についても、保護者の皆様により伝わりやすいように積極的に発信していく。

また、「8 学校は、いじめの未然防止への取組、いじめの早期発見、早期対応等いじめを許さない学校づくりに取り組んでいる。」については、肯定的評価が合わせて88%であった。本校では全教職員が「いじめは絶対に許さない」「絶対に守り抜く」という姿勢で日々の教育活動にあたっていることはもちろん、「子どもと向き合う時間」で子どもの話に耳を傾け、毎週金曜日に行っている「いじめ対策委員会」を通して全教員で情報共有をしたり対応策を検討したりしている。また、子どもや保護者から相談があった場合にはその都度臨時的にいじめ対策委員会を開き、即時対応をしている。そのような取組を通して、子どもが「安心して学校に通える」、保護者の方が「安心して学校に通わせられる」と思えるような学校を今後も全教職員が一丸となってつくっていく。

不登校(傾向)の子どもについては、必ずしも登校することを前提にするのではなく、本人や保護者の気持ちに寄り添いながら、関係機関とも連携し、繋がりを切らすことなく、その子のよりよい成長を目指して共に歩んでいきたい。

保護者アンケートの自由記述欄では、多くの皆様から感謝や労いの言葉をいただいた。そのような言葉は、我々教職員にとってほんとうに有難く、励みになるものである。また、要望や改善点等の意見については、来年度に向けてより一層充実した教育活動を展開していくための貴重な視点としていく。

安全・安心のためには、保護者・地域との連携もとても大切である。ながいけ会・学校運営協

議会の皆様には登下校の安全確保のために登校見守りや下校防犯パトロールをしていただいた。青少年対策松木地区委員会の皆様には地域パトロールや地域美化活動をしていただいた。三校合同学校運営協議会の皆様にも日頃から子どもたちの見守りや健全育成にご尽力いただいた。特に本地域の伝統になりつつある浄瑠璃祭りは子どもたちにとって大きな楽しみであり、また地域のつながりを感じられるたいへん貴重な場である。今後、さらに子どもたちがより一層成長する場となるよう連携していけたらと願う。長池小学校地区防災協議会の活動も、地域の安全・安心のためにたいへん有難い活動である。この度、長池小学校地区防災計画が八王子市のホームページにも掲載されることとなり、今後より一層の活動の充実が期待される。このような、本校に関わる皆様の様々な活動のお陰で安心・安全が守られている面が多々あることに、心から感謝したい。

2 「学び合い、知徳体を高め合う学校」について

(1) 保護者アンケートより

先の保護者アンケートの項目6～11が「学び合い、知徳体を高め合う学校」に特に関わる項目であるとする。概ね肯定的な評価をいただいているが、「6 子どもの学級は落ち着いて学習できる雰囲気である。」の項目で「3 (あまりあてはまらない) 又は4 (あてはまらない)」の否定的評価が合わせて9%となっていることについては、特に改善を図っていかなければならない。「学び合い、知徳体を高め合う学校」のためには、何よりも教員の授業力・指導力の向上が図られなければならない。今後も校内研究やOJT研修会はもとより、市の公立小学校教育研究会をはじめとする学校外の研究会・研修会等に教員が主体的に参加し、力量を高めていくことが肝要であり、そのような学校の風土をこれからも醸成していく。

(2) 教員による内部評価より

教員による内部評価において、「学び合い、知徳体を高め合う学校」に関わる項目について、「あてはまる、ややあてはまる」と回答した割合は、それぞれ次のとおりであった。

- ・今年度学校が力を入れて行っている取り組み(まなびたいむ・あいさつ、たてわり班活動、ICT教育等)を、積極的に実践できた。……………100%
- ・長池小学校が、松木中学校・松木小学校と一緒に行う取り組み(小中一貫教育の日、中学校授業見学、部活動体験、スタンダード等)について、連携を図ることが出来た。…93%
- ・子どもたちに、自分の大切さ、他の人の大切さについて様々な場面を通じて教えることができた。子どもへの言葉遣い、掲示物等、人権に気を付けることが出来た。…………93%
- ・落ち着いて学習できる雰囲気を作るために、積極的に指導に取り組むことができた。…93%
- ・授業等において、説明・板書・発問等を工夫したり、視聴覚機器(タブレット・ICT)等を活用したりすることが出来た。……………100%
- ・子どもの「あいさつ」の指導の充実を図ることができた。……………100%
- ・各学年の発達段階に合わせ、各教科・道徳・総合的な学習の時間等を活用し指導することができた。……………100%
- ・子どもたちのよさやがんばりを認め、適切・公平に、計画的な評価に努めた。…………100%
- ・子どもたちに「分かる楽しさ」「できる喜び」を味わわせることができる授業を工夫し取り組むことができた。……………100%
- ・子どもたちは、基礎・基本(読み・書き・計算)の学習内容を身に付けている。……100%
- ・子どもたちは、家庭学習を進めている。……………93%

どの項目でも肯定的評価が高いが、先の「(1) 保護者アンケートより」の部分でも述べた通り、教員としての力量アップのため様々な研修等を通して不断の努力を継続していくことが大切である。

(3) 八王子市学力定着度調査より

12月に4年生以上で実施された八王子市学力定着度調査の結果を、平均正答率について市平均と比較すると次の通りであった。

	国語			算数		
	本校平均	市平均	差	本校平均	市平均	差
4年生	64.2	63.7	+0.5	70.9	69.6	+1.3
5年生	70.6	65.1	+5.5	63.8	61.9	+1.9
6年生	69.9	63.3	+6.6	75.1	68.2	+6.9

全ての項目において市平均を上回っていたが、本校の傾向として、基礎的・基本的な内容よりも応用問題において高い正答率となっている。今後も、全ての子どもに基礎的・基本的な学力を確実に定着させていくために、不断の授業改善を図ることはもとより、はちおうじっこミニマム・チャレンジスタディ・算数補習・1学年担任による5・6年算数のT2補助等の取組を計画的、継続的に行い、丁寧な個別指導を継続していく。

(4) はちおうじっこミニマムへの取組より

基礎的・基本的な学力の定着を目指して6年生（から中学3年生）で実施しているはちおうじっこミニマムについて、全員が満点を取ることを目標に取組を行った。6年生74名中、1回目のチャレンジで満点だったのは国語8名、算数10名であった。その後、満点を取れなかった子どもたちの中で特に正答率が低かった子どもたちに算数を中心に管理職・専科教員が個別に補習を行った。その他の子どもたちについても各自で復習をさせ、再チャレンジに取り組ませた。その結果、不登校でチャレンジできなかった子どもを除いて最終的には全員が満点を取ることができた。

(5) 校内研究への取組より

今年度は昨年度に引き続き小中一貫教育をテーマとして校内研究に取り組んだ。研究テーマ及び分科会は以下の通りである。

◎研究テーマ

「学びをつなぐ小中一貫教育の実現 ～9年間の義務教育を経て社会に出ていく児童をイメージした教育活動の充実～」

◎分科会

- 学力向上分科会
- 児童生徒理解分科会
- タブレット活用分科会
- 郷土学習教材開発分科会

本研究の成果としては、主に次の2つが挙げられる。

① 中学校につながる授業づくり

各分科会において、小学校から中学校修了時までの姿をイメージしながら、系統表や共通の指導事項を定めた。定めていく中で、義務教育修了時に子どもたちがどのような力を身に付けていなければならないかを見出すことにつながった。これによって、我々教員はその力を授業でどのように育ていけばよいのか、どのような手立てを用いるべきなのかを研究授業や協議会において深めることができ、中学校につながる授業を行うことができた。さらに、教員全体で各分科会での手立てを共有することで、授業力向上につながった。

② 小中一貫教育を意識した教育活動の充実

各分科会から、小中一貫教育に向けた教育活動を生み出すことができた。以下、その教育活動である。

- ・学力向上分科会：外国語活動・外国語科での「Small talk」
- ・児童生徒理解分科会：ユニバーサルデザインを取り入れた教室環境や、授業の視点「焦

点化」「視覚化」「共有化」

- ・タブレット活用分科会：ミライシードの「ムーブノート」を活用した言語活動
- ・郷土学習教材開発分科会：長池サイクル（①課題の設定→②情報収集③→整理・分析→④まとめ・表現）

これらの教育活動は、教員の目安となり、各校で共通した指導をすることができる。中学校の教員も児童生徒の能力やスキルを把握しやすくなり、効果的な指導がしやすくなる。児童生徒にとっても、小学校での学びが中学校でも生かされることによって、中学校生活を送りやすくなるのではないかと考える。

これらの研究の成果については、3学期に本校で行った「小中一貫教育の日」において発表し、松木中学校グループ全体で共有することができた。このことは、松木中学校グループにおける小中一貫教育のさらなる推進につながると考える。今後も、松木中学校、松木小学校と連携しながら、子どものよりよい成長につながるよう小中一貫教育のさらなる推進を図っていきたい。

また、本研究を進めるにあたっては、八王子市立松木中学校長 泉澤太先生、八王子市立松木中学校副校長 上国料一志先生、八王子市教育委員会教育指導課 指導主事 池田雅孝先生にたいへん貴重なご指導をいただいた。

3 「生きがいをうむ学校」について

人はどんなときに生きがいを感じるのか改めて考えてみると、例えば「時間が経つのも忘れて何かに没頭しているとき」、「親しい人たちと共に和やかな、楽しい時間を過ごしているとき」、「自分のしたことが誰かに喜んでもらえたとき」、「自分のしたことが誰かの役に立ったと実感できたとき」、「自分や子どもの成長を実感したとき」等が思い浮かぶ。もっとシンプルに「おいしいものを食べたり飲んだりしているとき」というものもあるかもしれない。いずれにしても、何に対して生きがいを感じるかは人それぞれだが、心からの喜びや楽しみ、充実感を得ているとき、人は「生きていて良かった」と思い、それが「生きがいを感じる」ということなのではないだろうか。

さて、学校においては、本校に関わってくださる全ての方々と共に、子どものよりよい成長のために行うこと、子どもの幸せのために行うことが、我々大人の喜びや幸せにもつながるという思いのもと、日々の学校経営にあたってきた。

子どものよりよい成長のためには、まず安心して日々を過ごせることが何より大切であり、担任による普段からの声掛け等ほもとより、「子どもと向き合う時間」、「ふれあい月間の取組」、「カウンセラーによる全員面談（5年生）」、「QU アンケート（5年生）」等を実施し、学校全体で共有しながら対応してきた。

また、特に学級活動や委員会活動、クラブ活動、たてわり班活動等の仲間と共に行う活動において、子どもたちが主体的に活動できるような指導の工夫をし、活動の充実を図ってきた。

子どもが自分の成長を実感できるようにするためには、「分かった!」「できた!」という実感の持てる授業が何よりも肝要であると考え、教員の授業力アップを図ってきた。このことは教員の生きがいにも通じることであろう。キャリアパスポートを活用して子どもが自らの取組等を振り返り、成長を書き記すことも、成長を実感するために有効であったと考える。

教員の側に目を向けると、先ほども述べた授業力アップがまず第一であることは言うまでもないが、校務分掌において、協働の精神を大切にしながらも、「仕事を任せる」ということを重視して学校経営を行ってきた。そのことにより、各教員が、自らの分掌に一層の責任感をもって取り組み、その結果として達成感や有用感をより感じることができ、そのことが「生きがい」に通じたと考える。今年度の初め、先生方に「誠実な切磋琢磨」というキーワードを示して教育活動をスタートさせたが、長池小学校の教員は、正にお互いに切磋琢磨しながら、よりよい学校づくりに励んできた。

保護者・地域の皆様におかれましては、先の「安全・安心」のところでも書きましたが、様々な面で本当にお世話になった一年間でした。特にながいけ会・学校運営協議会・3校合同学校運営協議会・青少年対策松木地区委員会の皆様におかれてましては、長池小学校の子どもたちのよ

りよい成長のために様々な活動をしていただき、心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

これからも、「安全・安心で信頼されること」を基盤とし、「学び合うこと」を中核としながら、子ども・保護者・地域の方々・教職員にとっての「生きがい」をうむ学校となるよう、皆で知恵を出し合い、よりよい教育活動を進めてまいりたいと存じます。

そして、一人でも多くの人（子どもも、大人も）が「長池小学校でよかった」「長池小学校と関わってよかった」と思えるよう、誠心誠意尽くしてまいります。

令和6年度、長池小学校に関わってくださった全ての皆様に心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

そして、今後とも長池小学校へのご理解、ご協力、ご支援のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

一年間、ありがとうございました。